

『禁断キメセク～媚薬を盛られたので SP 男子に中出し解毒えつひしてもらいます～

■キヤハクター

◆千堂 忍(セハダウ シハブ) CV・I 1回戦中

28歳 身長180cm 髪型黒髪

ある日、家出をして一人で街に出歩いていたヒロインを家に連れ戻した。JRで

ヒロインのSPとしてスカウトされた。

SPの仕事は真面目にならし優秀。

ヒロインをあとでに相手にじかるのは忍だけだとSP仲間からも一皿を置かれる。

ヒロインと一人つきのときは素の自分で接している。ヒロインに密かに好意を抱いている。

◆ヒロイン

23歳

社長令嬢。お嬢様で自由奔放。

幼い頃から両親より帝王学を学ぶが、一般的な学生生活などにあいがれて供給してもらた。

社長令嬢として振舞うストレスからよく使用人などの皿を盗んで家出をしていた。

あるときの家出で忍と出合って、忍によつて家に連れ戻される。

それをきっかけに忍はヒロインのSPとしてスカウトされる。

◆あいすじ

あなたとSPの忍は、あなたの父の会社が主催するパーティーに参加していた。

あなたはパーティーの雰囲気に嫌気がさし、パーティーをじつじつ抜け出してしまつ。

部屋に戻ると淹れたての紅茶が……

不用意に紅茶を口にしてしまうが、その紅茶には強力な媚薬が盛られていた……

「——ああ、お前の身体から薬が抜けるまで、ひたすらイカせてやる」

# トラック1 導入

○収録区切り①

※ヒロイン父主催のパーティ中

SE: 据え置なぎわぬや

SE:おしゃれな田舎(ヒアノ)

[卷之二] 七言律詩

○○ 忍(小声)お嬢様 そぞぞろ涙の元へ川に移動する時間です】

## 一(ヒロイン)分かつた

【DHZ】6(のを見て)

003 ほんとうに、お詫びをつけて。私のそばから離れて

SE:足音×2(継続)

[תאזרחה] (העתקה)

卷之三

— १०८ —

【ヒミツ】7(6に立って)→6(9を見て)

005 忍 (ハヤシ笑ひ) ぐつ ..... (S5中二E) .....  
006 同様、お持たせいたしました。お嬢様、一  
時様、お持たせいたしました。お嬢様、一

卷之三

※パーティを抜け出し、部屋に戻ってきた一人

場所：廊下

SE:足音×2(継続)

【DIALOGUE】

007 感「よかつたのか？」

008 一通りの挨拶が終わったらせっかく、途中で抜擢されたって。  
009 お前田君への男たちが残念がつた顔をしつづいた。

—私じゃなくて『社長令嬢』じゃ

010 感「ああ、やつだな。ここ直帰。

011 (やや楽しそう)

012 『社長令嬢』田淵への男たちが残念がつた顔をしつづいて、愉快だったが。

013 ……あごついの視線を無視してお前を連れ出すのは痛快だった』

—ふう、お母のやつは寝ねな

※一度歩みを止めて

【DIALOGUE】

014 感「普通のやつだな、お前の警護などしてお母さんを持つね。

015 お転婆娘をやめてやるのなって俺がいつのものだ。

016 明日から担任のやつが回田で顔を上げるか、楽しみだよ」

—うひこト……

017 感「……延長は無理だ。初回は直帰だらいい。

018 『娘にうぶのやつは必ず半年』と交代するやつだ』といふのが、

019 つわの『お社』に出された条件だ。

020 ——のとお前がおかしな関係になつたのか心配なのだつたな、『両親は』

021 感(嘘)……まあ、俺はプロだから、

022 警護対象にやつこつた感情は抱かないが……、  
決まつは決まつだ。仕方なこや」

023

SE:足音×2(停止)

SE:開錠音(カーチキー)

SE:ドア開閉音

場所:廊下→室内

※室内に入らぬカーテンに向かう一人

SE:足音×2(継続)

間やせ※

024 感「ねこ」、急に黙るなよ。何か気に障ったか」

SE:足音×2(停止)

SE:ヒロインがソファに座る音

【DHM】9やや上方

025 忍「おい、まずは着替えが先じゃないのか？」  
026 高ジ「ジレスなんだらへしわになね、ぞ——」

SE:紅茶のカップを手に持つ音

—お父様の会社のホテルだから誰かが気をきかせてくれたんでしょ

029 『いや、ホテルマンが買取られたての間違えたわね。  
030 だから不思議に飲むじや——』

※飲んでしまうヒロイン。すぐに発情

【DHM】9上方→1(駆け寄る)

031 忍 (駆け寄りながら) お前……ツ!  
032 ((ー))から1)いや、すまない。  
飲んだな?  
ばかやろう!

033 034 無理にでも止めるべきだった。俺の落ち度だ。……すぐに水を飲め。 みのづく博めて——

SE:カツプをソーサーに戻す音(ガチャン)

[351]

035 感「……シ、ねこ、えりへった。おじか……」

熱い

036 感「……顔を離れる。……ひ、熱いな。クソ、やられた……」

—何、何だ

037 感「……口で」れだけぬくものほど暖つてこねやつも多しが、  
038 —媚薬だ」

—媚薬……

【エク】

039 感「ああ、創作の中だけのものだと暖つてこねやつも多しが、  
040 実在するんだ。……裏の世界」はな

041 感「……」んな代物を使つてくねなつて、……こや、あもなこ。

042 今はいこな」るふるはにしこの暖くねなつた

043 感「持つてへ。今」りに歯類を留め。つこの歯が留められただい。

044 ……井こだらつが、ルルリ留められただい

※のこの服を脱がるローブ

SE:衣擦れ

045 感「(転撰)えりへ、つた。……あ、ああ、水かへ。持つて」

—邊へ、離つてせこ

046 感「へ。やるが、いこな田で睨ぬよ。……暖くねかね、俺がお留め——」

—じやあ、他の誰かに頼む

047 感「へ、れはダメだー。」のホトル」の人に暖くね——

048 れれに」

049 クベツを仕込んだ奴がど」」潜んで」のかも余かひないんだが」

—じやあ……

050 暇「…………ああ、クン…………」

—ソレダメル。

051 暇「——ああ、お前の身体かいの薬が抜けたままで、ひたすらかせつだわ」

052

【ロエ】(えぬ奥のトカゲ)アマニ

053 暇「(腰せ)…………後悔かなねた。やつ、戻れなこか?」

## ナラシク2 ハロパート①

○収録区切り②

※トライシクル一続き

場所:リビング・ソファ

## 【DIALOG】

- 054 恥「一応、お前の意見も聞いておこうか。  
055 ソファに横になつて顔を見られながらイカされたのと、  
056 僕に後ろから抱かれてイかされたの、どうがいい?  
057 僕はどうせでも構わない」

—後ろから

058 恥「後ろから、か…まあ、どうだのうな。恥ずかしがり屋のお嬢様」

SE:ソファに座る音

## 【DIALOG】→⑧

- 059 恥「(ソファに座る音)……。ほひ、ナツナと膝の上に乗れ。  
060 ネーブルのせつを回して、な」

—でも

## 【DIALOG】⑩

- 061 恥「躊躇つてこの余裕などあるのか? 『ヒビヒビ』と呪吸が早くなつてこの。  
062 ……早くなつて、わいつて呪吸つてはいけない」

※やや間

SE:衣擦れ(ヒロマツ、●●の上に移動)

※(ナツナ)基本小瓶(=有声音)。(囁き)と呪吸があわせば無声音。

## 【DIALOG】⑪

- 063 恥「ナツナ、いい子だ。……普段よりも素直で可愛げがあるな」

— १०८ —

[DHM]4

064 忍<sub>一</sub>（軽く笑ひて）ア、悪い。余計なJとを語つた。……始める。

[Digitized by srujanika@gmail.com]

065 怪 (耳語の 10秒)」

[4] 

066 忽々 何を薦してゐ? ああもしかして  
067 耳が性感帯だと知らなかつたのか?  
068 さすが、箱入りのお嬢様だな」

卷之三

忍(且甜の10秒)」

四庫全書

忍ああいい反応が今後のセイガ! それとも……

071 鏡(中)

卷之五

卷之二十一 (五百九十一) 105

※舐めながらドレスの上をズリ下げる

—ちよつと  
SE:衣擦れ

073 感「おう、胸を露<sup>あらわ</sup>すやせだべのコトで騒ぐな。  
074 .....せりかく、(耳舐めながら)ハ.....。  
075 」ハシテ耳舐めてやつてしたのに、  
076 まだ意外と冷静な部分が残つて居るんだな。  
077 .....そんなに騒ぐ余裕があんなない、わつやぬぬかへ。」

意地悪言わないで

## 【DIALOG】4

078 愛「…………ああ、もうだな……ああだ。」

079 「お前をこじめただくなのはせ、俺の悪い癖だ」

## 【DIALOG】5

080 愛「せ、お詫び」……耳と胸、回転し反射もしくてやる」

## 【DIALOG】6

081 愛「耳(耳端) 10秒」

## 【DIALOG】6

082 愛「乳首、好也か? ここ瓶が丑いね……」

083 愛「耳(耳端)な。俺しか聞いてこないんだから、照つてやつ髪立てる」

## 【DIALOG】7

084 愛「(耳端) 10秒」

## 【DIALOG】6

085 愛「なあ、シソヘキアコトモ「おね」と、胸をかきむかして、  
086 動起した乳首をこじりだぬのせじるな気分だ……~」

087 愛「俺は最高の気分だよ。」

088 「身なつだけ上品なやつ」のト品な視線が求めてこた身体を、  
089 「じつて独立上めしてこねんだから」

## 【DIALOG】7

090 愛「(耳端) 10秒」

## 【DIALOG】6

091 愛「なんだ、

092 本気で『社長や嬢』である血脉「つか価値がなこと思つてたのか。  
093 賢いの」、たまに天然だな、お前は」

094 愛「……懸つ、無駄話が過ぎた。……むつ懸のかり、快樂だけ拾つてやる」

[DHZ] 73

095 忍(耳舐め10秒)」

096 忍ん、そろそろイきそうか。身体が強張り始めた……」

097 感〔激〕耳聴の10秒〕

099 感「(激しい耳舐め 10秒 ヒロイン絶頂)  
100 んへ…んへ…ん…」

SE:衣擦れ(ヒロイン絶頂)

[DHM]6

「…………」  
101 猫「…………ん、イカたか。…………無理かのな、おひべつ、頑張る」

※やや間

102 『アーティストかねへ、二つたん休むか……？』

一わへとつて  
※小冊「リリード

103 恥「……分かった。続いてやね。……だが、もう止は終わりだ。  
104 セルフマネジメント、成功ストーリーをつむぎやねー

105 感「こうたん俺の上から降りすぞ」

SE:衣擦れ(ヒロインを膝から降ろし、横に座らせる)

106 感〔シロヤシを覺ゆず呪懲〕……」

[DHZ]8

107 猫「お腹せんのまほ囲ひに。俺は——」

SE:フタトから壁の前

SE:足音(脚步、ソフトから壁に沿ってロードへの叫びに移動)

【エクレクト】

108 猫「今かい、お腹の。」  
「お腹のやめ」

SE:衣擦れ(ロード、壁に沿って)

109 猫「迷うのは『猫かっこ』だとい、今やうだい。

110 .....猫のいたいこいも、田舎のうとうだよ。迷うのはこちや。

111 ト着、脱がむる」

SE:衣擦れ(ペハシを脱がる)

112 猫「ん、腰、掛かはうて。腰つたうせようだいへ。」

SE:衣擦れ(スカートを脱ぐ音)

113 猫「ふわだ。かやさん掛ひてねたも……」

114 猫「(ぐるり 一〇秒)へ……」

115 猫「へへ、腰か」こね。腰ひくね。」

116 猫「(ぐるり 一〇秒)」

117 猫「せ、スカートが掛ひてやしない。」

118 猫「(ぐるり 一〇秒)」

——わ、だる

119 猫「ハ、ヤクがに叫ぶな。ここの……派手な、腰こじら……」

【DIE】→トカ

120 猫「漁火がくわい→〇〇 漆 ルロマ→總價」

SE:衣擦れ(ルロマ→總價)

- 121 猫「(寂寥を堪ねがひむ)ハ、世へるる業者、トウたな…アーリー、エシ  
122 メニテバ…スヘ、シタノ…」

123 猫「エシ、エハドヘ、エコマハリ—」

※猫だらけでなるロマ

- 124 猫「セ、なつになつか。仕方なご。わハ、趣、話のトキノ。  
125 クヘツが抜土の井戸の縦床だからな…」

—ルダセヤハ

- 126 猫「セ、嫌、リスル、リスル、なたのせお福の木が病も原因なつだ。」  
127 わがおおなやつだな。耳の風のせいかよかだのか?」

SE:衣擦れ(カムナガル)

【DIE】→トカ→—

128 猫(カムナガル古風)…シ」

—趣い、博多の世の二

【DIE】→

- 129 猫「…シ、シヌリ…ト、お福…。…リスル、リスル、」  
130 タトの腰の足踏みへな。脚立の駄だいたい體上取立へな」

—脚立取立へな

- 131 猫「ラキカヘな。脚立…お福のカタノ。脚立衣擦れ抱土の足立が—」

一でも勃つてゐる

[DHΣ]11

132 感「シ、」させ……ただの生理現象だ。男なら誰でも「うつむく」

בְּרִיתְמָה וְבְרִיתְמָה בְּרִיתְמָה בְּרִיתְמָה בְּרִיתְמָה

134  
櫻町のホーリーホーム、門を——

SE:ティーカップを手に取る音

〔THE〕 1 ↓ 1 三

135 恥「ーへ、おこ、なんでもまた飲ん——(キス?)ねえ)ん……」

[卷之二]

一  
三  
〇  
忍

「アーヴィングの死」の題で、アーヴィングの死を記した文。

※やせ間

139

うん

140 忍<sup>タク</sup>分か<sup>タ</sup>つた。……それならもつ、俺<sup>オレ</sup>は我慢<sup>シテ</sup>するのをやめ<sup>ナ</sup>。

## ナラシク3 ハロペート②

## ○収録区切り③

※トトロスカへ続モ、ベジブルームに移動シトシカハ

場所：ベジブルーム

SE:ベジブルが転む音

## 【DIEZ】→ナサ

141 息「せり、呪を開け。グズグズ」歯を舐むる音

—ニヤ……

142 息「なべだ、お前の髪つたくせに嫌なのか？」

143 やすが、わがままを嫌だな」

SE:ネクタイを外す音

—向を……

144 息「(髪ご聞かせぬよいし)纏ぬるだよ。俺のネクタイで、お前の半面を。

145 .....抵抗でやなつせりが興奮するだらけ。」

SE:衣擦れ(抵抗)

—ニヤハ

## 【DIEZ】→ナサ→

146 息「髪ぬ。力吐きねけないんだから。(覆いかぶさり)纏ぬる」シ

SE:纏の音

## 【DIEZ】→ナサ

147 息「咲成だ。.....ああ、ここな。お前の髪」舐く映

148 息「赤服を脱がせよつか。.....お前の金糸を見せしめだ」

SE:衣擦れ(脱がせ)

## 【DIE】→→

- 149 恥「脱がせやすい服で助かった。……ああ、いいな。  
150 セレーナだ。想像より、ずっと」

151 恥「呪、闇<sup>アーチル</sup>。(呪を闇かせぬ壯威)……」

## 【DIE】→→→

- 152 恥「大丈夫だ。こかなり笑い込んだせではない。  
153 ……アーチルのことはやめやまだが、  
154 も前<sup>アーチル</sup>乱暴したりわけじゃないからな。  
155 ……おおせ——(ト方に移動)」

## 【DIE】→ト方

156 恥「(アーチル 10秒)」

157 恥「想定外<sup>アーチル</sup>、イイ反応だな。まだアーチルいつか~。」

158 恥「(アーチル 10秒)」

159 恥「ん、入り口がカクハコ<sup>アーチル</sup>のがよ<sup>アーチル</sup>見<sup>アーチル</sup>る。……指、揃<sup>アーチル</sup>る」

SE:挿入音(指・手<sup>アーチル</sup>)

160 恥「ん……熱<sup>アーチル</sup>いな。あかなり飲み込んだ……。

161 指<sup>アーチル</sup>せ<sup>アーチル</sup>なが<sup>アーチル</sup>、クコトコスも一緒に舐<sup>アーチル</sup>め<sup>アーチル</sup>る」

162 恥「(アーチル 10秒)」

163 恥「ん、せが<sup>アーチル</sup>めた。もう一本……」

164 恥「(舐<sup>アーチル</sup>か<sup>アーチル</sup>しおが<sup>アーチル</sup>る)アーチル、指<sup>アーチル</sup>せ<sup>アーチル</sup>なが<sup>アーチル</sup>…

165 イチル<sup>アーチル</sup>か<sup>アーチル</sup>、ニチル<sup>アーチル</sup>、マチル<sup>アーチル</sup>——イチル<sup>アーチル</sup>、マチル<sup>アーチル</sup>…」

SE:衣擦れ(ヌロ<sup>アーチル</sup>絶頂)

## 【DIALOGUE】

166 愛「どうせハ、シカツヒコト、何變こな。

167 .....ん、ナカ、だじぶ、せぢれたみたこだ。」JRだなう.....」

SE:ズボンを外す音

SE:ズボンを脱ぐ音

SE:衣擦れ(挿入の体勢)なう

## 【DIALOGUE】

168 愛「力を抜け。息を吐こし.....」

—吐く

169 愛「へ、ねえだ、今ナムラキミハタニルナカ——」

—キスコト

170 愛「(おハラコ).....ハ、おおつ可憐で、アヌキナリヤハコドハ。

171 .....おおつ可憐なつわいだ」

## 【DIALOGUE】

172 愛「(トマーポキス 10秒)」

173 愛「結婚の説ひ.....おこ、お結婚の説がわぬ」

174 愛「(トマーポキス 10秒)」

## 【DIALOGUE】

175 愛「ねね、キスコトはたこ派ナキルが、ハジハナが、限界だ.....」

## 【DIALOGUE】(おしゃ興じかう)】

176 愛「(腰)」こぶかへ。」

—おこ

[DIALOG]

177 感「ねっかど。……挿ねね」

SE:挿入音

178 感「…………シ、ゼ、…………＼…………シ、キ」シ、な…………シ。密チルウだ……シ、「

179 感「うせ、…………＼、なねびくわいへつ、優しへすねが……自信がない

180 感「かいたう教えじくわ」

SE:衣擦れ・水音(以降滴[耳])

SE:ミラジが転む音(たゞじゆ可・継続)

181 感「(ユベヌ) 一〇秒」

182 感「ああ、あおなご……抱っこ、やめ。……だが、悪こ……＼、もあがく、

183 感「腰が上がりなこいだ……シ」

184 感「(ユベヌ) 一〇秒」

185 感「ルーフだ、わい | 度……キスを……」

[DIALOG]-

186 感「(キスしながらユベヌ) 一〇秒」

187 感「えい、今い、開こてわだ……シ、」

188 感「(キスしながらユベヌ) 一〇秒」

[DIALOG]-

189 感「ぬぬ、俺は今、お腹を……シ、抱こてうだよな……」

[DIALOG]-

190 感「(ユベヌ) 一〇秒」

191 感「回遊か回遊か想像した……シ、リハコト、俺のトド警護ぐる程や……シ」

—ハヘ、警……

192 感「隠ハ笑ひトハ、警じやなご。アハハ福かハ……」

193 多分、王族ハた隠匿かハ、俺セ、お福を……」

【エクス】

194 感「(ドーム、一〇秒)」

—ドモあなたガハモ……

195 感「ルハだ、俺セ……シ、アロだかハ、警護对象シ」

196 もかしほ感情を抱こたつせつまシ……モアだつた……シ」

197 感「(ドーム、一〇秒)」

198 感「お福が、隠シ……シ、お福が、俺の母ニ隠すに入ヘトヤだかハ……シ」

199 感「(隠シドーム、一〇秒)」

—ハモルハ

200 感「ニニシ、ヤウト……シ、奥、だハヤニズミニトヤウ……シ」

201 感「(隠シドーム、一〇秒 ドーム、隠匿)」

SE:衣擦れ(ドーム、絶頂)

SE:衣擦れ・水音(停止)

SE:ズラシが軋む音(停止)

【エクス】

202 感「(ドーム、一〇秒)」

203 感「大丈夫か?」

※やつしん媚薬の効果が薄まつてやだなローハ

【DIZ】-

- 204 愛「ああ、あかん。今こせんかしないたみだらな。
- 205 愛の赤みが伝わる

- 206 愛「……だが、まだ終わつたくな。やつしんが……」

SE:水滴(抜)<sup>v</sup>

- 【DIZ】+
- 207 愛「(離れて、はなれかう)手を離したやくタイキ……、  
208 カツセヒタヒコロ。
- 209 ああ、まだ土激しへ翻土せ——」

※愛土もいさかねローハ

SE:衣擦れ

【DIZ】○

- 210 愛「あこか、(離せぬの苦悶)……」

SE:衣擦れ

- 211 愛「あ、じりくはいだへ」

——  
——

【DIZ】○

- 212 愛「媚薬の効果が薄まつたよせんべ、徹底的に擦を抜いておかなこと  
213 やれり……なんだ……俺がおだててなんぶんだ。  
214 妹へんおなじなこ……」のまま、抱かれてる

## トラック4 エロパート③

○收録区切り④

※トライック3続き

坂戸・ハドワード

[DHM]5

恋にのめり込んである「寝ながら」とあるが、お嬢様】

—あらわけない……

216 彼「心つか。初めてを奪はんじのせ、気分がいいな」

〔△エク〕(△を煙ひしかる)△アム  
217 彦(麿也)押ヌル

SE:衣擦れ・水音(以降廻音)  
SE:ベッドが軋む音(なぐても)可・継続

〔DHM〕5やや上方

「お忍しがある（身体を起す）」からも、痛くはない。  
な。……、動くぞ……ッ、」

219 恩(エヌ) 10秒」

220 感じて、締め……」

221 緒論(上) 一〇六)

222 忍「仄、柔らかいな…………」、仄「ぬる、やわらか、穴が見えてる…………」、  
223 俺のものがズップラヘマハニベテスル穴、…………」の、穴…………」

—そつちは……ツ

【DHM】5やや上方



237 繁「ハベツのヤニヤニアリ」、『糞』に「ハベツのヤニヤニアリ」

238 繁「ヤスリの糞」、『糞』

SE:衣擦れ・水ぬ(云隣潤[画])

SE:矢立が糞(糞)・糞(糞)

【糞】

239 繁「(糞)」

240 繁「(糞)」

241 繁「糞」

242 繁「(糞)」

243 繁「糞」

244 繁「糞」

【糞】

245 繁「(糞)」

246 繁「糞」

【糞】

247 繁「(糞)」

248 繁「糞」

【糞】

249 繁「(糞)」

【糞】

250 繁「(糞)」

「糞」

252 感「ああ、俺も……う、また、母……う」

253 忍(激しぐ)ピストン 10秒 忍絶頂(射精)」

SE:衣擦れ・水音(停止)

SE：蔚精哲

254. 離了那個她(他)就活不下去了、她(他)是他的命脈。

※  
間

[DHZ]4

255 恥「…………へ、まあ…………、悪いな、無理ヤセた。…………大丈夫か…………？」

大丈夫

5[ΣΗΔ]

256 感 せつか、それなんなかつた。……顔が見たい。  
257 一 股抜くから、一ノハナを回してやれ……」

SE:衣擦れ(体勢変更)

卷之三

258 感「ん、キスをこねへ。(トマーッキス 5秒)」

[DHM]1

259 恥「たまらないな。その、とのせた顔。また勃起つらへだ」

一  
え  
...  
...

260 忍「冗談だ。」

いや、勃起したうんすねが、これ以上お湯をあわねえせうたら困ったな

問

262 関西の方言とその歴史

一覚えてるけど、でも……

263 「少くつしる、俺もあれで焼け出しつたてて睨ひしむる。  
264 .....やれども順を重んじる」

265 彼「俺が以前が好きだ。王族の

267 痞「(感極めの)……へ、お前からや『奴や』だよ! おまえの事、  
268 あつがいい。……あつがいい」

卷之三

[DHM]1

270 忍明田からもれ出るにうられるるか

272 271 270  
269 268 267  
266 265 264  
263 262 261  
260 259 258  
257 256 255  
254 253 252  
251 250 249  
248 247 246  
245 244 243  
242 241 240  
239 238 237  
236 235 234  
233 232 231  
230 229 228  
227 226 225  
224 223 222  
221 220 219  
218 217 216  
214 213 212  
211 210 209  
208 207 206  
204 203 202  
201 200 199  
198 197 196  
194 193 192  
191 190 189  
188 187 186  
184 183 182  
181 180 179  
178 177 176  
174 173 172  
171 170 169  
168 167 166  
164 163 162  
161 160 159  
158 157 156  
154 153 152  
151 150 149  
148 147 146  
144 143 142  
141 140 139  
138 137 136  
134 133 132  
131 130 129  
128 127 126  
124 123 122  
121 120 119  
118 117 116  
114 113 112  
111 110 109  
108 107 106  
104 103 102  
101 100 99  
98 97 96  
94 93 92  
91 90 89  
88 87 86  
84 83 82  
81 80 79  
78 77 76  
74 73 72  
71 70 69  
68 67 66  
64 63 62  
61 60 59  
58 57 56  
54 53 52  
51 50 49  
48 47 46  
44 43 42  
41 40 39  
38 37 36  
34 33 32  
31 30 29  
28 27 26  
24 23 22  
21 20 19  
18 17 16  
14 13 12  
11 10 9  
7 6 5  
3 2 1

—わかつた、ありがとう。これからもよろしく

274 ରେଣ୍ଟିନ୍ କାନ୍ଦିଲ୍ କାନ୍ଦିଲ୍ କାନ୍ଦିଲ୍ କାନ୍ଦିଲ୍ କାନ୍ଦିଲ୍  
275 .....କାନ୍ଦିଲ୍ କାନ୍ଦିଲ୍ କାନ୍ଦିଲ୍ କାନ୍ଦିଲ୍ କାନ୍ଦିଲ୍

## ■エラック5 アフターストーリー

○收錄△切い

※ヒロイン父主催のパーティ中(本編より3か月後)  
※SSPと一緒にいるため、素行を改めた「トト」。密

卷之三

SE:おしゃれなBGM(ピアノなど)

[卷之二] 七言律(6首)

2/8 恋(小声)お嬢様 そふそふ沙のテ一一川は種董じあじ(三) 昼間か押し(て)いま[ク]

一(ヒロイン)もう少し

※時間経過

## 【DHM】6(9を見て)

279 我々は次へ移動ヤセヒコただヤセホガ、マ

……たあ、行けよしよ。足元、お氣をつけて」

SE:呪音×2(継続)

【DHM】7(6に立って)→6(9を見て)

SE:環境音フェードアウト

※時間経過  
※パーティ後、部屋に戻ってきた一人

場所：ホテル部屋入り口

SE:部屋のドアが閉まる音

SE:翻訳者

【DIALOG】

282 感「えいへこへゆふだい。」

一だ」がへ。

283 感「じいじ最近の態度だ。直観かなことば聞かせねこ。」

284 「……以前おでせたつた一回の挨拶すい嫌がつてつたの」

285 やだらじ感覚を振つまつて、お土く匂あじ悪いかで……「体臭を拂はせねー。」

一だ、だつて、おれせ……

286 感「ふだん、渡わたた酒を飲めやかう飲んだな。」

287 「おたおのじやのよい」はつだこのか」

一だつて、幅を……

288 感「ああ、毎日忙がへつて。俺はく、マジハコヘニマダ」

※.トトシカ一続也

※.基本小瓶(有瓶瓶)、疊もせ無瓶瓶

場所:部屋入り口

【DIALOG】

289 感「寝壁つぶれや……(トマーペサバ 一〇秒)」

一やめし……。

SE:衣擦れ

290 感「騒ぐのな。お前のカジヤ無意味だ」

291 感「(トマーペサバ 一〇秒)」

【DIALOG】

292 感「ふだん、大人づくしゆ土。おづくしやねむ」

293 ……せ、お福の女がな、耳……」

【口型】(へ煙(いん)の口型)

294 煙(いん)一匁(いん) (耳幅(いのひき) 一匁(いん))」

【口型】

295 煙(いん) (聲(こゑ)の口型)「う……、身體(身體)が「うへ」にあつた。

296 あぬだら「感(かん)じなつてしまふ。」

—あくまでも……

【口型】

297 煙(いん) うな顔(うなが)い口型(くびけ)、説得力(せつとく)力(りき)。

【口型】

298 煙(いん) (耳幅(いのひき) 一匁(いん))」

【口型】

299 煙(いん) ……、眼(まなこ)、眼(まなこ)がちやん

—うるさい……

300 煙(いん) うじじやう。うじうじ声(こゑ)。うじうじ笑(わら)う

—え……

【口型】

301 煙(いん) うなじに緊張(きんじょう)つばくとも、うなづかせつぱん。

302 挿(は)むいじめで眼(まなこ)をこすり。お福(ふく)を壊(こわ)したくねえともねこさん。せ、耳(みみ)」

SE:呪音(数歩・体勢(たいし)

SE:衣擦れ(体勢(たいし)

【口型】

303 煙(いん) うのまかせ

—何するの……?

故國の政治小説

307 「…………え、痕がついた。」けれど、しづかの瞳が田の際せきのうねないな

[DHZ]6

「俺で上書きしたりやつたんだ、今のは照ひただ」

311 次「やあ、お待ちかねだ。胸を触つてやる。」  
「レース、シートのやう」

SE:衣擦れ(脱がせる)

312 惡(軽く笑つて)か……期待してたのか。わつ、硬くなつてゐる……」

313 鰐〔(鰐の古語)〕へ……、ん……へ、せ……シ、ああ、触つてこねださうで、興奮する。

315 気分(静か笑ひ)ながら、身体に近づいただけでもこんな反応をあらわすよ。  
316 ニーナでも可愛こやつだな……」

[DHM]7

〔七三〕

318 忍「(耳舐め 10秒)」

【DIALOG】6

319 暇「瓶、あ、これなんですか~」

——。

- 320 暇「幅縫長いトスのベーネードル、ヤクダリシトの縫いじかこ瓶を手つまひ、  
321 外に聞こえられないのか。せひ、瓶の中、ターゲットを見へ。  
322 スタッフが行わ来つて」

【DIALOG】6

323 暇「……あ、俺は闇がれても構わなこなじな」

——。

- 324 暇「君の返答、本腰じ込へこしなかったのか。  
325 聰仕上はいて、それが何の本腰つかが、豊臣はわいさん意識つけて。  
326 人の世つか……豊臣はわいだいへ」

——。

327 暇「心のなか。おぬ、眞本上闇こしなれどかわゆ」

【DIALOG】7-1

328 暇「(豊臣の耳、眞土の声)」

【DIALOG】7-2

329 暇「(眞土の耳、一〇糠)」

【DIALOG】7

- 330 暇「心のなか。ヤクダリシトの縫いじかこ瓶を手つまひ、  
331 (眞土の耳、一〇糠)」

【DIALOG】7-3

332 暇「(眞土の耳、一〇糠)」

【DIALOG】

333 続「(隣の妹のト) ハハハ、アスナリもかわいだのか〜。ホドホドかこ姫が丑久留〜……」

【DIALOG】

334 続「(耳鳴る 10秒)」

【DIALOG】

335 続「ルルルルルル、トモ殿のトカ。……金輪際かわい」

SE:衣擦れ(脱がせる)

○収録区切り⑥

336 恥「……ん、お前だけ裸なの、いいな。……興奮する」

水音

337 「（軽く笑つて）へへへ……、濡れ過ぎだ。太ももに濡れてしまひ……。」  
338 「またクスリでも盛られたんじゃないのか？」

一  
章  
之  
一

5【THE】

340 *Journal of Health Politics*

卷之三

あたごち

341 愛[（嬉[ハレ]ハシ）]ううう、そうだな、俺のせいだ。俺がお前を替えた

342 彼「クコムースも、最初よっしゃこうらで離じやかになつたよな。期待で離はなれ。

343 .....なあ……どうもうつこ離つて坐つて」

11

[DHΣ]4

SEE: 米酒(米酒)

〔三三〕

345 彦(麿サ)、ハキハヒ、表面を解く事でNOSU.....」

346 忍「(囁キ)」回側を、挟んで刺激するの……」

347 恥(疋ヤ)挟んで「ジ」ながら、むつ一本の指で、表面を……」

SE:水音(停止)

SE:衣擦れ

## 【DIEZ】4

348 猫「へ、……」ねがここんだな。おかげたゞ、迷惑お嬢様……」

SE:水音(繰繰)

## 【DIEZ】4

349 猫「(繰り出す)へ、へ、へ、へ、へ、へ、へ、へ、」

350 ゆこゆこ、……感心お嬢様……大ガ……」

—。

351 猫「せふ、トキを呪ひみれ、カーペシト」お嬢の太が掛ねて、ハリリだつて。

352 ホトルビス「猫屋あめつわつだ」……へ」

—……。

353 猫「ねね、お嬢のやの、猫あかしがる顔、たまひなこな……」

354 猫「十九也、繰り」

SE:挿入音

355 猫「…………おこなつ入つたな……」おこなつ繰り

SE:水音(繰繰)

## 【DIEZ】4

356 猫「おこな……おこなみたこだ……」

357 猫「(繰り出す)へ、へ、へ、へ、へ、へ、」

—ねこお嬢、猫の

358 矢「え、だねだ、まだこころのせ悪のへやいなー。」

359 ものの樂しな上品のねがねこねー」

360 矢「(鎧の上品)うへ……せ……ん、……へ、せ……」

361 矢「(鎧の上品)うへ……呪つなこのか……へ」

※耳鳴るかのド水槽

【DIZ】<sup>3</sup>

362 矢「(耳鳴る 10秒)」

【DIZ】<sup>3</sup>

363 矢「ね、黙を唄のねだり、ナカが繰り出る……」

【DIZ】<sup>3</sup>

364 矢「(耳鳴る 10秒)」

【DIZ】<sup>3</sup>

365 矢「ね、黙の限界か……」

【DIZ】<sup>3</sup>

366 矢「(耳鳴る 10秒)」

—へ

SE:水槽(導入)

【DIZ】<sup>4</sup>

367 矢「ね、……やつぶつ黙のコトやつたかつたが……、

368 やかん上に俺も わの豊野だ」

SE:ベベルおなづ

【DIZ】<sup>3</sup>

369 矢「(豊野)お福の十カド、入のカド」

○収録区切り⑦

SMT 挿入音

SE:衣擦れ・水音(ゆつくりめ・継続)

[DHΣ]4

370 感[.....シ、熱[.....シ、なか、あわせ[.....ル、な.....シ]

三七一 郡[半]彌陀

一  
う  
ん

5[ΣΠΔ]

「うそだよ。おまえがなに動くか

373 忍〔ピストン〕10秒」

374 愛(笑ひ)VVV<sup>トトト</sup>可愛(声が、漏れ)N<sup>トトト</sup>」

[DHM]5

375 息(ヒスヒ) 5秒)

376 約「此ノ、ナリル然ニリハ、ヘニラヌナヘ……シ」

377 暫(△スル) 5秒」

379 感〔(△△△) 10秒〕

[DHZ]6

380 感「ああ、西川……シ、見てあれ……シ、誰か近づいてやだ……シ」

SE:近畿地方の鉄道(1-10編成)

SE 足音停止

- 381 R<sub>3</sub>「……………」  
 382 R<sub>3</sub>「……………」  
 383 パートヤでね福<sub>3</sub>に触<sub>3</sub>った男か……?  
 384 チツ、誰かの船腹<sub>3</sub>を聞いたんだが……」

SE:ホタルイヤンターホ

- 385 R<sub>3</sub>「……………」  
 386 (撫<sub>3</sub>・笑<sub>3</sub>)<sub>3</sub>「……………」  
 387 変態<sub>3</sub>な嫌様<sub>3</sub>……」

—— | 回答……

【DIALOGUE】

- 388 R<sub>3</sub>「(懶<sub>3</sub>)やる気<sub>3</sub>がな<sub>3</sub>だらうへ…」

SE:衣擦れ・水音(漱<sub>3</sub>・繰繩)

【DIALOGUE】

- 389 R<sub>3</sub>「口、さやぢ<sub>3</sub>なも……シ、闇<sub>3</sub>かわ<sub>3</sub>いやれ……シ」

390 R<sub>3</sub>「(漱<sub>3</sub>・繰繩)」

- 391 R<sub>3</sub>「ル<sub>3</sub>つだ、わ<sub>3</sub>は、感<sub>3</sub>じ<sub>3</sub>……シ、あ<sub>3</sub>こ<sub>3</sub>は、瞬<sub>3</sub>く<sub>3</sub>知<sub>3</sub>る<sub>3</sub>か<sub>3</sub>や<sub>3</sub>な……シ、

- 392 む福<sub>3</sub>が誰<sub>3</sub>の<sub>3</sub>な<sub>3</sub>のかを……シ」

【DIALOGUE】

- 393 R<sub>3</sub>「(漱<sub>3</sub>・繰繩)」

SE:髪<sub>3</sub>かの<sub>3</sub>く<sub>3</sub>く<sub>3</sub>音

- 394 R<sub>3</sub>「ハシ、ナカ、わ<sub>3</sub>は、物<sub>3</sub>の<sub>3</sub>も<sub>3</sub>の<sub>3</sub>な<sub>3</sub>動<sub>3</sub>か<sub>3</sub>な<sub>3</sub>い<sub>3</sub>る<sub>3</sub>だ……シ、せ……シ、ね福<sub>3</sub>せ、イ<sub>3</sub>ハ  
 いか……シ」

- 395 R<sub>3</sub>「……………」  
 いつ放<sub>3</sub>的<sub>3</sub>な<sub>3</sub>放<sub>3</sub>り<sub>3</sub>も<sub>3</sub>好<sub>3</sub>き<sub>3</sub>な<sub>3</sub>だ<sub>3</sub>な……」  
 今後の参考<sub>3</sub>に<sub>3</sub>こ<sub>3</sub>も<sub>3</sub>の<sub>3</sub>……シ」

[DHM]6

396 忍(ピスト) 10秒」

—あなただけ……

397 愚（軽く笑つて）ふへ、バントたか。……ルハだよ、俺も正直かなり興奮した。  
398 梅ノ舟のゆき、雪むかひナヒテモ冬月のソノ、ルハだナで……シ

399 感〔(♪スト) 10秒〕

400 忍「ああ、ナカが、……ツ、限界近いんだな……ツ、……ハツ、俺も、そろそろ……ツ、  
は……あツ」

401 號(1977, 10 月)

[ΣΣΗ] 5

402 恩奥森ホムルゼ 深山川にて射精ノリヤニカシ

403 全部、飲んでくれ……ツー！」

404 恋(ラスト) 10秒 射精)「…せり…ああ…」

SE:衣擦れ・水音(停止)

SE:衣擦れ(ヒロイン絶頂)

SE:射精音

5

405 恋「せあ……ン、」口元を向いてくれ。キスが足りない……」

SE:足音(数歩・体勢変更)

SE:衣擦れ(体勢変更)

[תבז][1]

400 恋(恋、一叶、の種)

フードアワード

## ○収録区切⑧

※トワッキ2の数時間後

場所:ベッドルーム

SE:衣擦れ(ユロマハ、田を覚ます)

【DIE】、

407 犬「へー、田が覚めたか。……身体は大丈夫か……？」

—「ん

408 犬「んいか、それなりよかつた」

※間

409 犬「…………あまなかつた」

—何が?

410 犬「…………無理やつ抱いて、あまなかつた」

411 お前が他の男に触られてるのを見て……カツとなつた」

—嫉妬したつて冗談。

412 犬「…………、ん、だな。

413 ……みつともなつかい認めたくはないが、俺はあの男に嫉妬したんだ。

414 自分が「」まで嫉妬深くて独占欲が強い人間だなんて、知らなかつた」

—ねえ

415 犬「ん、なんだ?」

—私が大人のやつをやつたの、これからか覚えてる。

## [DOD]

- 416 感「お前が、お嬢様のことがないたのなんて、あざむかれてたんだ。
- 417 衝撃的だったからな。最初は全然慣れてなくて……
- 418 あざむかれて……でも最近は本業のお嬢様のことがないでしゃた。
- 419 こや、ルルも、お前の迷惑の変形化……何か理由があるのか？」

—坂つかなこへ。

- 420 感「…………へ、うひふわ！」

※やや黙

- 421 感「(感)うわ、#わから……俺か？」

—ハズ、ルル

- 422 感「こや、#裸で確認かれてる。

- 423 ……後から『お嬢様がいた』みたいな感じ、それが何だか理解がなー」

※やや黙

- 424 感「…………俺か、#はなれだな……か……へ。」

—上隣

- 425 感「(感)隣ねー、#お嬢様か?」

SE:衣擦れ

- 426 感「お嬢様、ルルがうわ……#はなれ……」

- 427 感「#あざむかれたな。こなへ。」

—ハズ

【DIALOG】→→→

428 続「ねつたる。」トヤ一歩キス 一〇三)

【DIALOG】→

429 続「せぬ……シ、俺も、お酒で酔ひ切った野郎なんだもん、もう少し我慢だ。

430 」JRから車 | 離港後、お酒の入ったお土産を手に持つ。

FIN